

平成21年4月28日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18530258

研究課題名（和文） 戦後日本における「生活改善運動」の基礎的実証的研究——農村と都市の比較史的考察

研究課題名（英文） A study of life improvement in postwar Japan

研究代表者

大門 正克（OKADO MASAKATSU）

横浜国立大学・経済学部・教授

研究者番号：70152056

研究分野：日本経済史

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：経済史、日本史、生活改善、農村生活、都市生活

1. 研究計画の概要

1940年代後半から1960年代にとりくまれた生活改善運動は、それまでの「くらし」を新しい「生活」に創り変えようとするものであった。今までまとめて検討されることがなかった戦後の生活改善運動について、本研究では、次の3点から基礎的実証的研究を重ねる。

- (1) 生活改善運動は生活の単なる技術的改善ではなく、家族の経営・世帯・生活・ジェンダーの全体にかかわっていたのであり、家族生活の変化全体を究明する。
- (2) 生活改善運動は、農村と都市で異なっており、農村では農民家族の女性が、都市では主婦と中小企業の青年労働者が担い手に位置づけられた。農村と都市の比較史的考察を行う。
- (3) 生活改善運動には政府・各省が加わっており、政策の分析を行う。

2. 研究の進捗状況

研究は、生活改良普及事業、新生活運動、家族計画、社会教育の4分野で行ってきた。

- (1) 生活改良普及事業については、府県レベルの調査を岩手県で終え、分析を進めた。また町村レベルについては、岩手県北上市和賀町について、農業改良グループや婦人会、社会教育などの分析を進めた。
- (2) 新生活運動については、「あしたの日本を創る協会」に所蔵されている新生活運動協会の機関誌・雑誌の分析を引続き進めている。

(3) 家族計画については、長野県の飯田市立中央図書館に所蔵された家族計画の資料・文献について調査を引続き進めている。

(4) 社会教育・公民館については、神奈川県立図書館、神奈川県庁、神奈川県立公文書館など、神奈川県での調査を終えた。

(5) 以上の調査・研究をふまえ、とくに平成20年度においては、岩手県及び岩手県和賀町での調査研究成果をふまえた学会報告をして報告を論文にまとめた。また、日本の通史の1冊を担当し、その中に岩手県及び和賀町の事例を位置づけ、本調査の歴史的意味をまとめた。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

4つの分野のうち、とくに生活改良普及事業と新生活運動については、当初の予想以上に資料の収集が進み、分析も順調に進展している。この2つの分野については、分析結果をふまえた研究成果をすでに発表し始めている。とくに平成20年度においては、学会で発表し、単著を刊行した。

以上から、研究はおおむね順調に進展しているといえる。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 生活改良普及事業及び新生活運動の調査研究をふまえた成果の発表を引続き行い、研究成果を確かなものとする。

(2) 家族計画及び社会教育については、補足調査を行い、今年度中に分析を終えて、近い将来における研究成果の発表に結びつける。

(3) 以上の全体をまとめた、戦後日本の「生活改善運動」に関する総括的な研究を発表し、当該テーマに関する今後の研究の方向性を明確にする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

- ① 大門正克、「序説 「生存」の歴史学——「1930～60年代の日本」と現在との往還を通じて」、『歴史学研究』846号、2—11頁、2008、査読無
- ② 大門正克、「オーラル・ヒストリーの実践と同時代史研究への挑戦——吉沢南の仕事を手がかりに」法政大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』、589号、1—16頁、2007年、査読無
- ③ 大門正克、「地域・家族の生活リズムと教育の普及——日本近現代の側から」日本村落研究会編『年報村落社会研究』42号、47—64頁、2006年、査読無

〔学会発表〕(計1件)

- ① 大門正克、「序説 「生存」の歴史学——「1930～60年代の日本」と現在との往還を通じて」歴史学研究会大会全体会、2008年5月17日(於：早稲田大学)

〔図書〕(計4件)

- ① 大門正克、『全集 日本の歴史15 戦争と戦後を生きる』小学館、1—382頁、2009
- ② 大門正克、『歴史への問い／現在への問い』校倉書房、1—335頁、2008
- ③ 大門正克、「戦後日本の農村と開発」、水内俊雄ほか『「開発」の変容と地域文化』青弓社、94—119頁、2006
- ④ 大門正克、「農業労働の変化と農村女性——20世紀日本の事例」西田美昭アン・ワズオ編『20世紀日本の農村と農民』東京大学出版会、31—56頁、2006

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0 件)

○取得状況(計 0 件)

〔その他〕